

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：02 「生きる力」を育てる学校教育の充実

主管課長職・氏名	学校教育指導課長 村田 浩隆
関係課長職・氏名	

1. 基本施策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

	目指す学校像として「正義」と「信頼」の学校を掲げ、子どもたちが安心して生き生きと生活できる学校づくりを目指します。また、「生きる力」を育てる学習指導要領の趣旨を踏まえ、滝沢市学校教育目標「明るく かしこく たくましい子ども」を育成するため、確かな学力を育む教育の推進、豊かな人間性や社会性の育成、健康・安全活動の支援の充実を図る中で、子どもたちが学べることの幸福感を味わえるような学校教育を目指します。							
--	---	--	--	--	--	--	--	--

(2) 基本施策目標値の達成状況

No	この基本施策に関わる基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
1	暮らし 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校） 単位 %以上	75	93.8	93.8	93.8	93.8	93.8	D
			61.1	-	-	-	-	△73.9
2	暮らし 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（中学校） 単位 %	83.3	62	66	70	75	75	D
			75	-	-	-	-	100.0
3	幸福 子どもが夢中になって取り組めることがあると感じる人の割合 単位 %以上	56.6	75.1	75.1	75.1	75.1	75.1	C
			59.4	-	-	-	-	15.1

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

No	施策名 施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
1	暮らし 05020100 確かな学力を育む教育の推進 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（小学校） 単位 %以上	75	93.8	93.8	93.8	93.8	93.8	D
			61.1	-	-	-	-	△73.9
2	暮らし 05020100 確かな学力を育む教育の推進 学力テスト（NRT）で全国標準を上回った学校の割合（中学校） 単位 %	83.3	62	66	70	75	75	A
			75	-	-	-	-	100.0
3	暮らし 05020200 豊かな人間性や社会性の育成 1年間無欠席の児童生徒の割合 単位 %以上	44.9	41.2	41.2	41.2	41.2	41.2	A
			46.2	-	-	-	-	△35.1
4	暮らし 05020300 健康・安全活動の支援 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	30.3	37.4	41.6	45.8	50	50	C
			35	-	-	-	-	23.9
	単位							

後期基本計画 令和元年度 基本施策方針評価書

政 策：05 学びにより充実した人生を送ることができるまち

基本施策：02 「生きる力」を育てる学校教育の充実

主管課長職・氏名	学校教育指導課長 村田 浩隆
関係課長職・氏名	

2. 基本施策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 基本施策目標の達成（実現）に向けた計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力を育む教育の推進」については、わかる授業の推進及び家庭学習の充実を図るため、新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善や人的支援に係る事業を実施し、教員の指導力の向上と学習環境の整備を目指しました。 ・「豊かな人間性や社会性の育成」については、道徳教育の充実と特別支援教育の充実を図るため、道徳に係る授業研修や公開講座、支援員の配置を実施し、教員の指導力の向上と支援体制の充実を目指しました。 ・「健康・安全活動の支援」については、児童生徒の登下校中の安全を確保するため、通学路の点検やスクールガードによる見守り活動を組織的に実施し、安全対策の充実を目指しました。 	

(2) 基本施策内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】 確かな学力を育む教育の推進</p> <p>【重点課題に対応した達成状況】 学力検査等による実態把握と分析、分析に基づいたわかる授業の推進、授業と連動した家庭学習の充実が図られており、概ね目標値を達成しています。</p>	

3. 基本施策の実現に向けての令和元年度実施後での変化を認識する

(1) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

B	社会環境変化あり
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では令和2年度から、中学校では令和3年度から新学習指導要領に基づいた教育活動が実施されることから、学校教育に対する市民の関心が高まることが想定されます。 	

(2) 政策との関連性から基本施策の見直し

A	必要なし
<ul style="list-style-type: none"> ・政策達成のため、引き続き同一内容の基本施策の実施が必須であるため、見直しの必要はありません。 	

4. 基本施策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「確かな学力を育む教育」が推進されるように、教員の指導力向上と人的支援に係る取組の充実を目指します。 <p>【引継課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「確かな学力を育む教育の推進」「豊かな人間性や社会性の育成」「健康・安全活動の支援」の3つの施策を実施することにより、滝沢市学校教育目標「明るく かしこく たくましい子ども」の育成を図ります。 	

